

大野城市社会福祉協議会 2015年度（平成27年度）事業計画書

(1) 地域福祉活動の中長期計画である「第1期大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画～みんなで動こう 動けばわかる～」がスタートします。
(次のとおり計画の一部を抜粋して紹介します。)

① 大野城市総合福祉まつりの充実（計画18P）

15年間続いてきた大野城市総合福祉まつりの内容を見直し、市民の誰もが気軽に参加できるようなイベントになるような内容を取り入れ、市内の様々な関係機関団体とも連携を図りながら、「福祉」をもっと身近に感じられるまつりとなるように充実を図ります。

② ふーちゃんゼミナールの推進（計画21P）

例えば、後を絶たない二セ電話詐欺や認知症高齢者の増加に伴う地域の課題は、まず知ることが重要となります。啓発事業の一環として実施しているふーちゃんゼミナールは、地域や福祉団体だけではなく、企業や事業所へも対象の拡大を図りながら、多くの人に「知ること」の機会をつくっていきます。

③ ボランティアエントリーシステムの構築（計画26P）

特別な資格はないけど…、週末の半日くらいなら…、その活動なら自分にもできるかも…など、ボランティア活動には興味があるけれど、なかなかその一歩が踏み出せていない方でも、気軽にボランティアに参加できるような形として「ボランティアエントリーシステム」を構築していきます。

★ホームページやSNS等を 活用した情報発信

ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を活用してエントリーシステムを利用したボランティア活動の情報発信を行います。

★気軽にボランティアに参加できる ような活動メニューづくり

様々な世代の方が選んで参加できるような魅力ある活動メニューをつくっていきます。

★いつでもどこでも気軽にボランティアエントリー（応募）できる仕組みづくり！

パソコンやスマートフォンからいつでも気軽に、24時間いつでもどこでも気軽に「エントリー（応募）」できる仕組みをつくりまします。まずやってみたい活動にエントリーしてもらい、ボランティア活動を経験してもらいます。



④ 災害ボランティア養成事業の実施（計画30P）

万が一、大野城市で大規模災害が発生した場合、被災された方が元の生活に戻るための復興支援として災害ボランティアセンターを設置します。この養成事業では、災害に対する基本的な知識や必要なスキルを学ぶためのものとして実施します。将来的には災害復旧の現場で活動ができるようなボランティアの組織化を目指します。

なお、毎年3月に実施されている総合避難訓練と併せて、ボランティアの協力を得て、災害ボランティアセンター設置運営訓練も実施します。

⑤ おおのじょうボランティアのつどい事業の実施（計画31P）

様々な分野で活動する『テーマ型ボランティア』と地域で活動する『地縁型ボランティア』のそれぞれの立場で活動する方々が一堂に顔を合わせ、対話ができる場をつくっていきます。まずはお互いのことを知り、理解しあい、今後協力してできることなどを探りながら、協働できることを考えていく場をつくっていきます。

⑥ 認知症行方不明者搜索模擬訓練の実施（計画34P）

認知症の方とその家族を地域で支えていくことができるよう、実施区において認知症を正しく理解する講座や実施訓練内容の構築を地域主体で創り上げていき、住民と関係機関の参加・協力によるつながりづくりを進めていきます。

⑦ 日常生活自立支援事業の充実（実施主体：福岡県社協）（計画38P）

福祉サービスを必要としながらも、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な人やお金の管理に困っている人がいます。そうした人がサービスを受けようとする際に、支援を行う生活支援員については地域福祉活動の経験を有する人を中心に生活支援員として関わっていただき権利擁護事業への市民参加を進めます。

なお、福岡県社協との契約に至らない場合で、支援を必要とする人については、独自の支援を行うことを検討していきます。

（2）地域福祉活動の活動財源である共同募金や寄付の新たな展開を目指して

これまで同様に寄付してよかったと思える社協活動を展開しながら、資金開拓を行うファンドレイジングの手法を取り入れながら善意や志が循環する地域社会を目指します。

また、共同募金については実績額によって配分は変動していくという考え方を取り入れ、配分を受ける団体の理解と協力を得ていきたいと思えます。

(3) 指定特定相談支援事業者としてサービス等利用計画を作成

平成27年度より障害サービスを利用している人は、サービス等利用計画の作成（ケアマネジメント）が必要となります。

昨年度に指定を受けた指定特定相談支援事業については、介護サービス事業として位置づけし、障がいのある人が抱える課題を解決する手段として社協らしいきめ細かなサービス等利用計画の作成を行います。

(4) 生活困窮者自立支援法施行に伴う市との連携並びに相談業務の強化

平成27年度より生活困窮者自立支援法の施行に伴い、市においては自立相談支援事業の取り組みが始まります。この事業では、特に経済的に困窮している人から相談が寄せられる生活福祉資金貸付業務との連携が、より一層重要性を増すことから市との連携強化を図りながら、経済的に困窮している人の自立支援を促す相談業務を強化していきます。

(5) 福島・南相馬市の応援を継続

東日本大震災から4年が経ち、3.11を風化させない取り組みとして発災直後から支援している福島・南相馬市を中心とした東北応援ツアーや総合福祉センター1階ロビーに福島の物産等を展示販売するコーナーを継続していきます。

(6) 人材育成

サービスや支援の拒絶、孤立、ひきこもりなど見えにくい生活課題が広がるなかで地域に出向き住民と協働して様々な生活課題を発見し、個別支援と支援のネットワークづくりを行う地域福祉の専門職であるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）としての援助技術を身につけるため社会福祉士や精神保健福祉士などの必要な資格取得を目指す若年職員に対して国家試験等の受験資格を取得するための通信課程受講への助成をこれまで同様に行います。また、職員の能力、適正などを把握し、透明性・客観性がある人事評価システムを確立していきます。

(7) 調査・研究

国の制度が目まぐるしく変わるなか、社協活動もその変化に対応していかなければなりません。特に「生活困窮者自立支援法」や「介護保険制度改正に伴う地域包括ケアシステムの推進」は、その両方ともに地域福祉活動の視点が入っており、特に、介護サービス事業の分野では地域に必要な社協らしい独自の生活支援サービス（有償・有料のホームヘルプサービス）の実施に向けて早急に調査・研究していくことが求められています。

また、先進地で実施されているひとり暮らし高齢者の孤独死を防ぐための「かぎの預かり事業」についても今後の検討課題です。

社協の事業活動は、ニーズに対応すればするほど業務量が増大し職場環境は厳しさを増します。今、必要なことは、職員の適正な配置と確保、待遇改善が喫緊の課題であるため、他市の状況も調査しながら、その改善に向けた取り組みを始めなければなりません。

それと同時に既存事業の評価を適切に行い、社協活動になじみにくい、スクラップ・アンド・ビルド（必要な事業、不必要な事業を点検し整理すること）の実施に向け研究していく必要があります。

2015年度 大野城市社会福祉協議会 主な事業・会議予定表(前期)

月	日	曜日	事業・行事	事務局会議等
4	1	水	社協だより（ふくしんぼ150号）発行	
	6	月		コミュニティ福祉部会連協
	8	水		福祉委員会
5	未定			平成26年度監査
	未定			正副会長会
	未定			総務委員会
	未定			福祉委員予定者事前打ち合わせ
	未定			理事会・評議員会
	未定		第1回やすらぎのまち市民協議会	
6	1	月	社協だより（ふくしんぼ151号）発行	理事会・評議員会
	8	月		コミュニティ福祉部会連協
	10	水		福祉委員会
	未定	土日	災害ボランティア養成講座	
	未定		重度障がい者リフレッシュ事業	
7	5	日	夏っ子クラブ・小中ふれあいの旅事前研修	
				ボランティアセンター運営委員会
	24	金	夏っ子クラブ① （ハンディを持つ子どもたちの一時預かり事業）	
	28	火	夏っ子クラブ②	
	31	金	夏っ子クラブ③	
8	1	土	社協だより（ふくしんぼ152号）発行	
	3	月		コミュニティ福祉部会連協
	4	火	夏っ子クラブ④	
	5	水		福祉委員会
	6	木	福祉教育基礎研修会	
	7	金	夏っ子クラブ⑤	
	11	火	夏っ子クラブ⑥	
	18	火	夏っ子クラブ⑦	
	21	金	夏っ子クラブ⑧	
	22～23	土日	小中ふれあいの旅2015	
	25	火	夏っ子クラブ⑨	
	未定		日常生活自立支援初任者研修会	
	未定			共同募金会支会理事会
9	26・27	土日	（おおの山城大文字まつり）	
	未定		赤い羽根共同募金のつどい	
	未定			福祉事業委員会

2015年度 大野城市社会福祉協議会 主な事業・会議予定表(後期)

月	日	曜日	事業・行事	事務局会議等
10	1	木	社協だより（ふくしんぼ153号）発行	
	1	水	共同募金運動開始（12/31まで）	
	5	月		コミュニティ福祉部会連協
	14	水		福祉委員会
				（翔んでふれあって2015）
	24or25	土・日	ふれあいの旅2015事前研修	
11	7~8	土日	（生涯学習フェスティバル）	
	7~8	土日	ふれあいの旅2015	
	11	水	南地区番茶の会	
	13	金	北地区番茶の会	
	14	土	中央地区番茶の会	
	16	月	東地区番茶の会	
	29	日	大野城市総合福祉まつり	
	未定			ボランティアセンター運営委員会
未定			上半期監査	
12	1	火	社協だより（ふくしんぼ154号）発行	
	7	月		コミュニティ福祉部会連協
	9	水		福祉委員会
	未定		第2回やすらぎのまち市民協議会	
1	未定		法人後見事業運営委員会	
2	1	月	社協だより（ふくしんぼ155号）発行	
	1	月		コミュニティ福祉部会連協
	10	水		福祉委員会
	未定			ボランティアセンター運営委員会
3	11	金	おおのじょうボランティアのつどい	
	未定		在宅介護者のつどい	
	未定			福祉事業委員会
	未定			総務委員会
	未定			理事会・評議員会
	未定			共同募金会支会理事会
			第3回やすらぎのまち市民協議会	

※ 毎月第2土曜日は介護サービス定例研修